

# 黒川通信

落石対策工事が終わって、いよいよトンネル工事を始めていきます。

初夏の爽やかな風が吹き渡る季節となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。現場の緑も、庭のアジサイの花も深さを増しています。6月は衣替えの時期ですね。この便りが皆様の所に届く頃には梅雨入してじめじめとした蒸し暑い日が続いているやも。体調を崩しやすいのでお体には十分お気を付けてください。

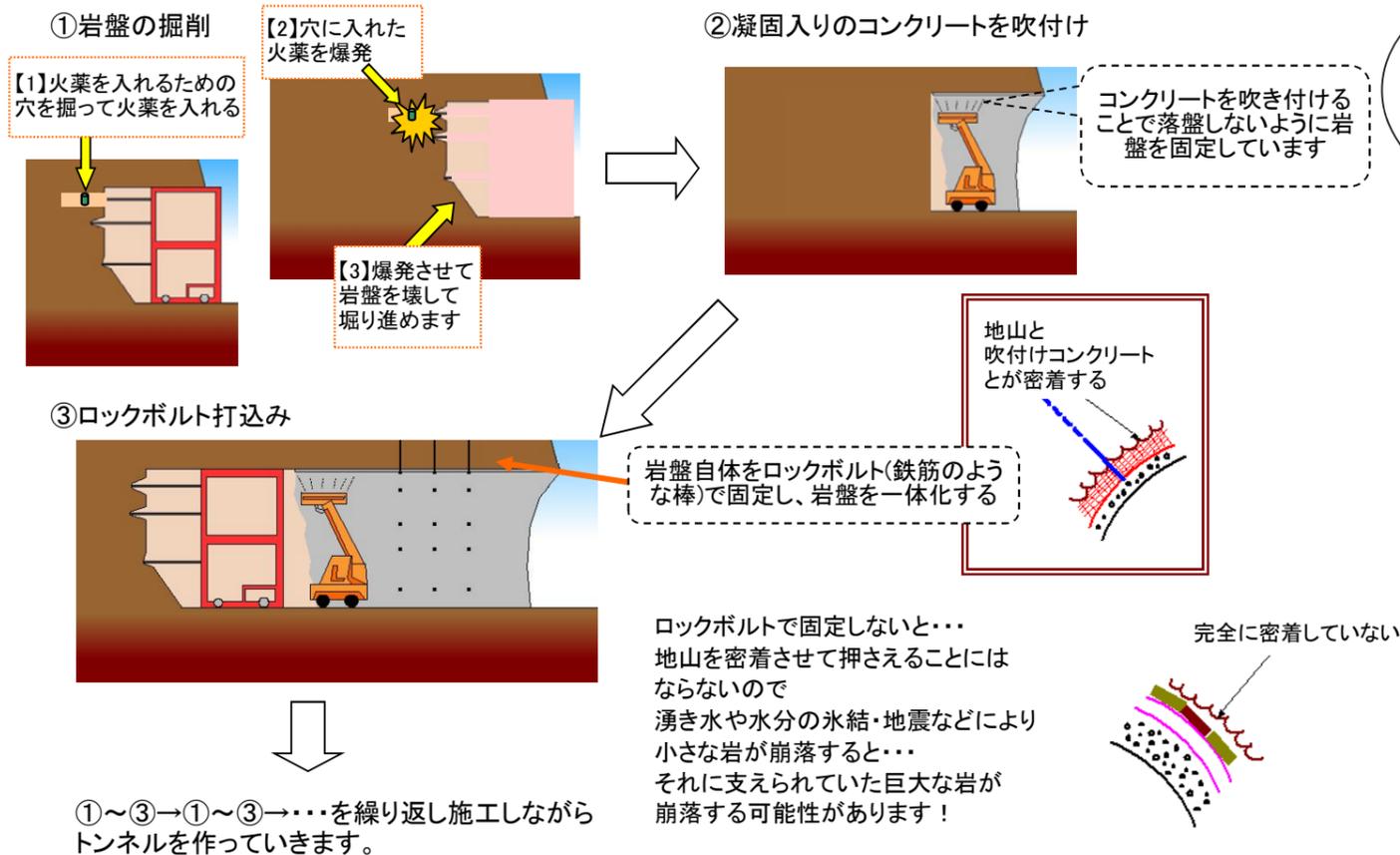
## トンネルはどうやって作る？

普段、車や電車などで何気なく使っているトンネルですが、作る位置や環境など条件によって工法が異なります。

黒川第4砂防堰堤工事は、「山岳工法」の中の『NATM工法』と言われる山の中の岩盤を掘進するのに適した工法で進めていきます。

### ★NATMとは？

New Austrian Tunneling Method (新オーストリア工法)というもので、一般的にNATM(称:ナトム)と呼ばれています。この工法は、掘削直後に地山に密着して吹付けコンクリートとロックボルトを施工することにより、地山の緩みを最小限に抑え、本来地山が有している支保能力を最大限に利用する工法です。子供の頃、砂場で“トンネル”を掘って遊んだ記憶があると思いますが、砂に適度な水分があれば見かけ上の粘着力が作用し、内側から保持しなくてもトンネルが自立する原理を利用しています。



## 黒川第4砂防堰堤工事現場今の様子

上から落ちてくる石を受け止めるネットです。安全確保には欠かせない施設です。

法面が崩れやすい土質のため黒枠の中をコンクリートを張り付けて斜面の安定を図ります。上から徐々に施工中です。



ここがトンネルの出口になります。

## こんにちは現場技術者の村澤です

今回、現場技術員として監理技術者を補佐して技術管理を担当している村澤です。5年ほど前ですが太田切川の河川工事を担当した事がありました。その時、梅雨前線の影響により現場地域は大雨となり、太田切川の水量が大幅に増して水の脅威を見せつけられました。私も小さな子供を持つ親として、河川のある地域の方々が少しでも安心して住めるよう全身全霊をかけて工事を完成させたいと思います。工事ではご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願いします。



**浅川建設工業株式会社**  
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11363-1  
現場代理人 石黒 敦 ご要望・ご意見がございましたら  
監理技術者 竹澤 広秋 090-3236-0507 まで  
現場技術者 村澤 雅樹 本社 TEL 0265-79-2218  
FAX 0265-79-9156